

NETIS登録番号	技術名称	MITS工法(QSJシステム)				
QS-000012-V	副題	中圧(珪砂)噴射流体切削攪拌工法				
分類1	共通工	深層混合処理工	固結工	高圧噴射攪拌工	キーワード:コスト削減, 生産性の向上	
分類2	共通工	深層混合処理工	固結工	セメントミルク攪拌工		
開発目標	経済性の向上					
技術の位置付け	<input type="checkbox"/> 推奨技術 <input type="checkbox"/> 準推奨技術 <input type="checkbox"/> 活用促進技術 <input type="checkbox"/> 設計比較対象技術 <input type="checkbox"/> 少実績優良技術					
特許	<input checked="" type="checkbox"/> 有り(特許番号:第3526016) <input type="checkbox"/> なし					
技術賞, 審査証明等	<input type="checkbox"/> ものづくり日本大賞 <input type="checkbox"/> 国土技術開発賞 <input type="checkbox"/> 学会賞 <input type="checkbox"/> 建設技術審査証明					
問合せ先	会社名	MITS工法協会			TEL	0952-64-2331
	住所	佐賀市富士町大字下熊川 159-68			E-MAIL	mits22@fuiiken-co.jp
	担当者	角 和樹				
実績件数 H26.4.1現在	国土交通省	その他の公共機関		民間等		
	12件	193件		2件		

技術概要:(300字以内)

MITS工法QSJシステムは、深層混合処理工法である高圧噴射攪拌工法に類する工法で、改良地盤中に障害物(捨石、木杭など)が存在し、機械攪拌系地盤改良や掘削対応が出来ない場合、その障害物を珪砂を含む高圧噴射削孔水で切削削孔した後、改良下端からセメントスラリーと珪砂を20Mpa以下の中圧ジェットで噴射することで、1工程で改良体造成ができる地盤改良工法である。施工機械を数点変更することにより機械攪拌系のCMSシステムへ変更することができ、経済性を図ることが可能。小型機械を用い、機動性に優れることから狭小な現場での対応も可能である。

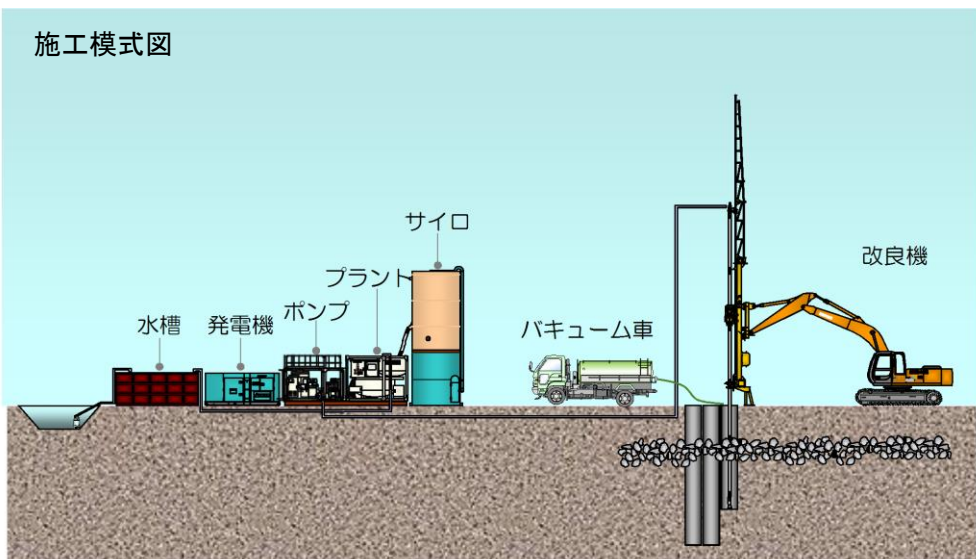
期待される効果

- ・障害物撤去を行わず、1工程で改良体造成が可能。
- ・改良剤注入による地中堆積増加分を排泥として地上へ排出させるため、周辺地盤変位抑制が可能。
- ・ベースマシンにバックホウを採用していることから、軟弱地盤上での仮設足場が簡易で、転倒等の危険性が少ない。
- ・振動、騒音が少なく、周辺への威圧感を軽減できる。

適用範囲

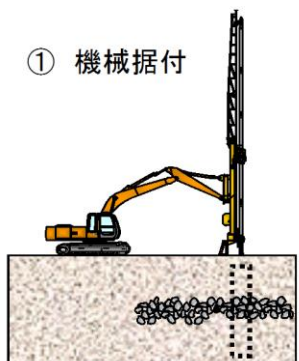
- ・粘性土 粘着力C=30KN/m2以下
- ・砂質土 N値15以下
- ・改良径 600~1,000mm
- ・改良深度 23.0m以下

施工模式図

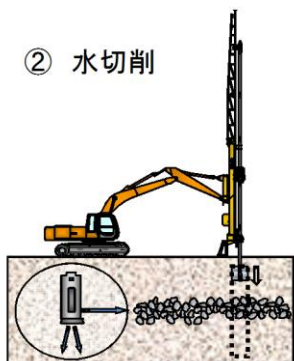


施工手順

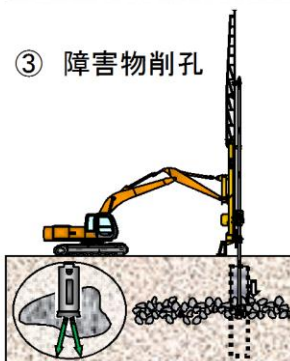
① 機械据付



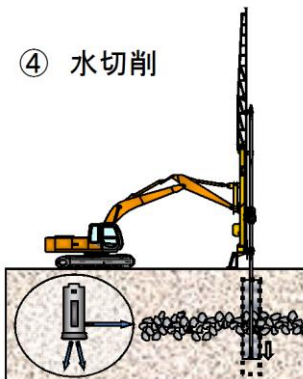
② 水切削



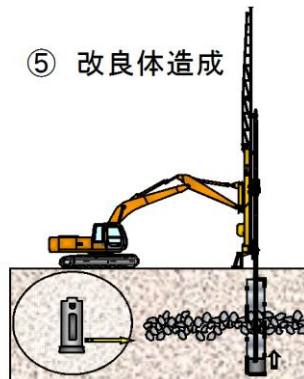
③ 障害物削孔



④ 水切削



⑤ 改良体造成



⑥ 造成完了

